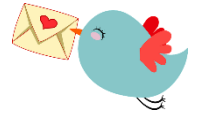


令和7年度 NPO 法人目黒ユネスコ協会通常総会



2025年5月17日(土) 区庁舎 1F レストラン 出席:120名(含委任状)

定刻、久富事務局長の司会で開会。最初に、活動に寄与された物故者への黙禱を捧げた。

爲季会長は挨拶の中で、目黒区及び区教委とご出席の来賓への感謝を表し、「昨年度の創立70周年は次なる活動へのスタート台と捉えて、時代のニーズに合わせることも次の世代にバトンを渡すことを考えたい。ユネスコ憲章にある、『戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない』を胸に、恒久的な世界平和をめざし貢献するという活動で協力したい」と語った。

ご来賓の青木区長からは、本会の活動への感謝のお言葉を頂戴し、目黒区政は平和・人権・多様性を尊重することを土台としていると述べられた。次いで、ご来賓の区議会議員小野瀬様、区教委より生涯学習課長斎藤洋介様、文化スポーツ部長濱下正樹様、文化交流課長西村敏弘様、五本木小学校長海老江直子様、区議



会議員西村ちほ様、顧問二ノ宮啓吉様より励ましとお力添えのお言葉を頂戴した。

議場は爲季会長を議長に選出し、議事に入った。

【審議事項】令和6年度の事業が各部門(研修・交流・青少年対象・日本語教育・支援・芸術文化・広報)担当により報告され、協会運営については事務局長が説明。決算報告及び監査報告、続いて今年度の事業計画並びに予算案が提案され、審議の結果、すべての議題が満場一致で承認された。

本年度は役員任期満了のための改選を要し、既定の手続きに基づき新役員案を提示承認。新理事互選により齊藤眞澄新会長、大前真理子、雲野右子、岩佐富雄3名を副会長、宮城典子を事務局長に選出。それぞれ短い挨拶を述べた後、総会は終了した。

(新任)齊藤眞澄会長挨拶

この度、会長をお引き受けすることになり、大変光栄であり、また責任の重大さを痛感しております。目黒ユ協会には日本語スタッフを振り出しに様々な活動を体験してまいりました。その中で大勢の先輩や仲間たちと出会い、ボランティア活動を通じて、ユネスコの理念、人の心の中に平和のとりでを築かなければならないとのユネスコ憲章に感動し、導かれてまいりました。まだまだ浅学非才の身ではございますが、皆様と一緒にユネスコ精神の実現と、次の若い世代に、この活動のバトンをつなげていきたいと思っております。どうぞご指導ご鞭撻を賜りますように、お願い申し上げます。

【2025～2026年度 理事総数 22名】

会長：齊藤眞澄、副会長：大前真理子
雲野右子・岩佐富雄、事務局長：宮城典子
会計：谷澤眞知子、太田優枝・遠藤裕子
緒方明子・荻原恵子・加藤光子・小村恵子
白岩葉子・鈴木純夫・谷合祐之・爲季 繁
西田不二夫・濱岡位久子・久富美智子
菱田秀子・望月 昇・渡辺レーファ

【監事2名】岡田幸子・宮崎富美子

【来賓】(敬称略) 区長：青木英二、文化スポーツ部長：濱下正樹
文化交流課長：西村敏弘、生涯学習課長：斎藤洋介、五本木小学校長：海老江直子
区議会議員：小野瀬康裕、区議：西村ちほ、鈴木まさし、都議会議員：青木英太
衆議院議員：松原仁(代理出席)、エコライフ目黒推進協会事務局長：谷合祐之
顧問：二ノ宮啓吉

目次 1P/総会

2P/美術教室

交流サロン、支援

3P/サイエンス教室

4P/お知らせ

★ユネスコ美術教室「手びねりで抹茶茶碗を作り、お点前の体験」



主催：目黒区教育委員会・主管：目黒ユネスコ協会
講師：安原喜彦氏 日時：2025年2月7日～2月28日
会場：紅椿窯 参加：16名（午前午後合計）

（抹茶席）講師：石原宗香氏 3月7日 緑が丘文化会館茶室

今回の美術教室は、陶芸作家の安原氏の歴史ある紅椿窯で午前、午後の2回に分けて抹茶茶碗作りが実施された。大半の方が陶芸体験がないにもかかわらず、安原氏の丁寧な指導のお陰で、個性豊かな作品が出来上がった。

お点前体験の会場、緑ヶ丘文化会館和室では裏千家専任講師の石原氏にも午前、午後の2回に分けてお願いした。まずお抹茶をいただく前の、和菓子をいただく所作から自作抹茶茶碗に茶杓で抹茶をとり、お湯を注ぎ、茶筌で点てる基本所作の他、石原氏からは茶道の歴史や、お茶の心とは？AI デジタル社会でも日本人として相手を思いやる心、季節感を大切に、すべてに感謝する心。世界に誇る日本人の精神文化としての侘び寂びなど心にゆとりある生活の大切さを学び、時間に追われがちな日常の生活を見直す良いきっかけになったと思う。今回の企画は参加者には大変好評でした。芸術文化委員会 望月 昇

■交流サロン「抹茶茶碗作陶・茶道体験」

日時：2月5日～3月7日 参加：10名・会場＆講師：同上

日本語教室の国際交流サロンでは、一般公募と並行して、フレンドシップメンバーによる陶芸教室が開催された。日本人のスタッフを除くと、スペイン、中国、フィリピン、韓国、ニュージーランドの5か国から9名の参加者が集った。焼き物の分類、道具の名前、工程など難しい日本語を理解しながら、茶碗作りが始まった。1回目は、粘土から手びねりで茶碗の形ができるまで。2回目は、削りと装飾を施したあと、安原先生が茶碗を乾かし、素焼きまで仕上げてくださった。3回目は、下絵付けと釉薬をかけ、本焼きを待った。4回目では、完成した茶碗が作業台を飾り、作品の鑑賞会となった。スタッフの毛利さんによる、外国の方にも解りやすい「茶道の歴史」や「千利休の教えについて」の講話に花が咲いた。5回目は、お茶室に出向き、自作の茶碗を使って学習者自らがお茶をたてた。

茶碗作りとお手前の基本的な所作を体験する中で、日本の「詫び寂びの文化」を学んでいただいた。広報委員会 白岩 葉子



支援通信 世界寺子屋運動 書きそんじハガキ回収キャンペーン お礼とご報告

世界寺子屋運動は、世界中の学校へ行けない子供たちや、学校に行けなかったために字が読めない大人たちが学習するのを支援する運動です。目黒区・目黒区教育委員会・目黒区国際交流協会のご後援をいただき、1月16日から2月5日の約2週間を回収期間として実施しました。近年、SNSの広がりによって、ハガキや封書の利用が減ってきています。また、令和6年10月より、郵便料金が値上げされたこともそれに拍車をかけるのではと懸念されました。しかし、回収したハガキは3386枚にものぼり、切手やプリペイドカードによる寄付も多くありました。回収したハガキや切手は、郵便局で額面500円を主とした切手に交換し、プリペイドカード類は交換業者で換金しました。その結果、交換後の寄付総額は22万円となり、すべて日本ユネスコ協会連盟に届けました。たくさんの皆様からのご協力に深く感謝申し上げます。

支援委員会 岩佐 富雄

第2回サイエンス教室「LED コマを作って回せ」

主催：目黒区教育委員会

主管：NPO 法人目黒ユネスコ協会

講師：内田裕之氏（YMC 所属アマチュア無線技士） 参加：小学生 14 名 協賛：横浜みどりクラブ（YMC）
会場：目黒区立五本木小学校理科室 日時：2025 年 2 月 15 日（土）14:00～16:00

今年度 2 回目のサイエンス教室は、望月副会長の司会、倉田理事の優しい言葉でユネスコ概要と内田講師紹介で始まりました。コマ作り前には講師から、今回お手伝いして下さる YMC メンバー紹介とともに東日本大震災で通信網不通となった時に無線が活躍した話などがありました。

いよいよ講義と作業のスタートです。最初に、教室前スクリーンを見ながら LED コマの仕組みを聞き、その後の作業は、各テーブルほぼマンツーマンで手元のプリントも参考にして緑色の丸い基盤に青・緑・黄・赤 4 色の LED ライトをハンダゴテで取り付けました。なかなか難しく火傷に気を付けながら慎重に設置、うまくいかなかった箇所は再挑戦！頑張っている姿に「凄いな～」と周りの大人たちも感心していると、「ハンダできました～」の声も！ボタン電池をセットしたらコマの完成です。最後は、手でクルリとすると、コマはそれぞれの色合いで綺麗に光って回りました。

広報委員会 太田 優枝



第3回サイエンス教室「重心を見つけて遊ぼう！」

講師：岩佐富雄氏 遠田次郎氏 目黒ユネスコ協会会員 参加：小学生 4 名

会場：緑が丘文化会館 日時：2025 年 3 月 15 日（土）14:00～16:00

最初は、為季会長からユネスコ活動の話。そして、「ナマステ(インド)」「ニーハオ(中国)」「ハロー(アメリカ)」「サラッマツト シアン(インドネシア)」、海外の「こんにちは」の言葉から世界の話…皆の瞳がキラリとしました。

さあ、今年度最後のサイエンス教室講義の始まりです。本日の先生は、当協会会員で理科講師でもある岩佐さんと遠田さんのお二人です。

人間が立っている時としゃがんだ時は重心の位置が変わること、最近よくネットに上がっている絶妙なバランスで石が積み上がった画像！あれも重心が取れているから静止していられることなどの説明があり、「みんな集まって～」の掛け声では集合し、間近で作業手順や重心の見つけ方を学習できました。作成は、①起き上がり子法師②バランスとんぼ③ビー玉とコンパクトディスク(CD)のコマ④重心さがしボード⑤からくり屏風パタパタの5種類！！「トンボがどうやってバランスを取っているのかがわかってよかった！」「おもしろかった♪」リピーター受講生からは「LED では、1つのコマでしたが、今日はたくさん作れてよかった！」の言葉も頂きました。 広報委員会 太田 優枝



今年も様々な活動計画❤️満載。❤️参加者随時募集中！ 問合せは事務局(宮城)まで。

事業委員会	令和 7 年度 事業内容	委員長
研修委員会	文化講座 3・受託語学教室 2・自主語学教室 6	菱田秀子
交流委員会	国際交流ひろば/バスツアー・日本文化紹介・新年会	久富美智子
青少年委員会	青少年フエスタ・サイエンス教室・支援活動・他	岩佐富雄
日本語教育委員会	目黒ユネスコ日本語教室	加藤光子
支援委員会	識字支援・国内外災害支援・教育支援	岩佐富雄
芸術・文化委員会	美術展・美術教室・コンサート	鈴木純夫
広報委員会	会報発行・協会案内発行・ホームページ運営	太田優枝/白岩葉子
協会運営	総会・理事会・運営会議・会計・名簿・発送・他団体との協力・他	宮城典子

自主語学講座 ★国際理解・国際交流など、ユネスコ運動推進の一助として活動しております。

	教室	曜日	時間	場所	講師
1	イタリア語(初中級)	木・午後	13:20~14:50	緑が丘文化会館	シモーナ・マリアーニ
2	イタリア語(初級)	土・朝	10:00~11:30	緑が丘文化会館	ピエトロ・メルリーノ
3	フランス語(中級)	火・午後	15:30~17:00	ZOOM 開催	伊藤クロード・アンヌ
4	英語(初中級)	木・朝	10:00~11:30	区民センター社会教育館	ジェフ・モーエン
5	ドイツ語(初級)	水・朝	10:15~11:45	緑が丘文化会館	イザベル・ゴイ
6	中国語(初中級)	金・朝	10:00~11:30	緑が丘文化会館	黄 愛華



参加者随時募集中。見学希望者は必ず事前に、電話かメール等で、予約をお願いします。

■新入会員 どうぞよろしく(敬称略)

ハック昌美、吉崎つね子、上村陽子、山内真穂、阿部雅子、藍原義郎、藍原典子、田中麻紗子、浦村良一、浦谷久乃、野添純子、平野こずえ、早川能子、尹 和、坂口葉子、仲栄真恵子、平山和代、檜山逸斗、佐藤美江、杉本のぞみ、渡部公夫 [21名]

◇**会員募集中**◇ 趣旨に賛同される方の入会を歓迎いたします。問合せ:事務局(宮城)迄。

★「めぐるユネスコチャンネル」
YouTube からのご案内★

ユネスコ青少年フェスタの模様を、協会HP内「めぐるユネスコチャンネル」で YouTube 配信中。
小中学生による SDGsの取り組みや平和の特派員の報告、インドネシア・ネパールの文化等紹介。

- 目黒ユネスコ協会主催
- 目黒ユネスコ協会の関連機関・団体との協力事業
- ▲目黒ユネスコ協会の関連機関・団体との共催事業
- ★目黒教育委員会からの受託事業



最新情報は HP からどうぞ

5 月以降の予定

- 5/17(土)通常総会
- 5/28(水)発送連絡会
- 自主語学教室 6 講座
(仏 1・英 1・独 1・伊 2・中 1)
- 事務局(月-金 13:00~16:00)



編集後記

5月14日にユニセフから先進・新興国 43 カ国に住む子供の「幸福度」を調査した報告書が公表された。それによると、日本の子供は高い自殺率などが要因となり「精神的な健康度」は、前回 2020 年の 37 位から上昇はしたものの 32 位と下位に低迷した。一方、「身体的な健康度」は 20 年に続き首位だった。

今月、世界一貧しい大統領、というキャッチフレーズで有名になったウルグアイの元大統領、ホセ・ムヒカ氏が亡くなった。「貧しい人とは、何も無い人ではなく、欲しがる人のことを言うんです」という言葉で有名になった彼は、日本の子供にも、「日本にいる子供たちよ。君たちは今人生で最も幸せな時間にいる。経済的に価値のある人材となるための勉強ばかりして、早く大人になろうと急がないで。遊んで、遊んで、子どもでいる幸せを味わっておくれ」と言葉を残している。日本の子供一人一人にこの言葉が届いたら、日本の子供の精神的な健康度は高まるのでしょうか? 「自分にとっての幸せを探して下さい」、この言葉を送りたい。このような調査が、43 カ国のみならず、全ての国で行われる平和な世界が一日でも早く訪れるように祈ってやまない。 遠藤裕子

